



### 「シニア会員拡大に関する要請書」を手交



シニアクラブの会員拡大について、改めて現役JAMの協力を求めることを目的に、「シニアクラブの会員拡大に関する要請」を昨年12月の第1回幹事会で決定。1月13日に「要請書」をJAMシニアクラブ宮本会長からJAM安河内会長

に手交しました。要請の内容は、10年連続してシニア会員が減少している状況を踏まえ、

- ①シニアクラブの必要性、役割、活動について、地方JAM役員、加盟単組役員への周知。
- ②単組OB会の立ち上げや単組OB会からのシニアクラブの加入促進についての支援。
- ③地方JAM役員OB、書記役員OBの個人加入の促進。
- ④大手労組への協力要請。
- ⑤「全地協にOB会を充足する」方針の推進等です。

### 第51回衆議院議員選挙の結果について

事務局長 大野弘二

1月23日に召集された通常国会は高市首相の「自己都合」により2分間で解散、第51回衆議院選挙が、1月27日公示、2月8日投票票で実施されました。

結果は、自民党が316議席で単独で3分の2以上、維新と合わせ与党が352議席と4分の3の議席を獲得しました。これに対し、我々の支援政党である立憲民主党は、公明党と「中道改革連合」を立ち上げ与党に対抗しましたが、49議席と大惨敗を喫し、国民民主党も横ばいで、野党勢力は大きく後退しました。JAM推薦候補については、組織内候補の「大嶽りえ」の再選が叶わず、JAMもつくり国会議員懇談会の重点推薦候補5人は全員が当

選したものの、推薦候補者184人のうち37人の当選にとどまり、前回より95人減という厳しい結果となりました。この結果を引き起こした要因については、いろいろ語られているとおりですが、「高市人気」という異様な空気が日本社会を覆ってしまっただけという言いようがありません。少なくとも自民党や高市首相の政策や理念が圧倒的支持を得たとは思いません。

しかし国会の景色は劇的に変わってしまいました。今後、絶対多数を背景に、憲法改正、非核三原則の見直し、労働の規制緩和、社会保障費の削減、選択的夫婦別姓の後退、防衛力増強などが強引にすすめられることが予測されます。民主主義の危機とも言える状況の中

### JAM推薦候補の選挙結果

党派	立候補者数				当選者数			
	合計	前	元	新	合計	前	元	新
中道改革連合	139	110	3	26	18	18	-	-
国民民主党	42	19	1	22	18	14	-	4
無所属	3	3	-	-	1	1	-	-
合計	184				37			

で、改めて労働運動の真価が問われます。寒風と雪の中で、JAM推薦候補の勝利に向けた、会員と家族の皆様の取組みに改めて感謝を申し上げるしだいで。JAMシニアクラブは今後も現役JAMと一体となって政策制度実現の取組みを継続していきます。落ち込んではいられません。下を向かず前を向いて元気に進んでいきましょう。

### 地域組織の確立で 会員間の絆の促進を

### 主張



九州・山口のシニアの幹事の役に就き、幹事会のテーマは毎回の様に会員拡大と取組強化を議題とするも、高齢者の現状は活動機会の増加と行動態様の多様化、

労働組合の委員長を定年退職までさせていた。働き、再雇用で70歳近くまで働いた会社勤め、定年後には町内の自治会長の役も任せられ、市の理事の役職も引き受け10年が過ぎようとしています。長期での労働組合運動での経験は町内の自治会活動に活かされてきました。それは、組合員の多様な意見をまとめ、会社に提案する過程で複雑な意見調節のスキル、合意形成を磨いた結果だと思っています。

一方、退職後JAM九州・山口のシニアの幹

組織として発足し、地域に根ざした組織へと見直すことによる組織拡大への転換を図ることにしました。しかし、会員拡大へのハードルは高く、シニア組織に限らず地域社会における組織、団体も同じように会員減少の悩みを抱えており、特効薬はないように感じます。日頃の活動の充

### シニアの課題と求められる平和運動

九州・山口シニアクラブ事務局長 荒川正行

価値観や意識の変化などの実態により、決め手となる打開策が見いだせなく推移してまいりました。今年度の第23回定期総会では、広域の九州・山口の幹事会組織から地協・県協へと基軸を移し、共済ユニオンとシニアクラブを一つの

実を、少しでも地道に未加入者に伝えていく推進が必要だと思っています。今年も丙午、私は年男です。「人間万事塞翁が馬」の精神で、前向きに進んでいきたいと思っています。さて、政治に目を向ければ、2026年1月時点では高い支持率を維持し高市政権は政策の大転換を主張、「高市か否か」の矮小化で、前回衆議院選挙からまだ1年3か月の短期間での「わがまま解散」を実行しました。日本の防衛政策を大きく転換し、軍事費の大幅増額、憲法改正への動き等、私たちが現役時代運動の一つの柱の平和運動を揺るがし、危険な状態が心配されます。対話を通じた平和解決を重視する。今こそシニアクラブの運動として労働組合や様々な団体に働きかけ、具体的な平和運動の声が求められていると思われれます。

第2回三役会議を開催



1月27日、JAM本部において第2回三役会議を開催しました。当日は、前段で郡山りよう組織内参議院議員との政策懇談を予定していましたが、突然の解散・総選挙のため延期となりました。三役会議では、以下の項目について協議を行いました。

- ① 2026年度会計中間報告。
  - ② 会員拡大の取組み。
  - ③ 第51回衆議院議員選挙。
  - ④ 結成25周年記念行事。
  - ⑤ 第2回幹事会と郡山議員との意見交換会。
- 会員拡大の取組みについては、1月13日にJAM安河内会長に手交した「会員拡大に関する要請」にもとづく、中央、地方での取り組みを確認しました。

地方の取組みとしては①地方JAM(県連)に対し単組へのシニアクラブの周知と理解を広げる活動を要請する。②単組におけるOB組織の立ち上げ、個人加入の促進を地方JAM(県連)に要請する。③現役とともに、地協、単組に出向き、入会活動への支援を要請する。④以上の内容について連携強化懇談会(現退会議)で意見交換を行うとともに、場合により本部と同様、書面をもって要請するなどとなっています。

千葉 新春の集い開催

通信員 蝦名秀信

千葉シニアの新春の集いは、2026年1月9日千葉市中央区の中華「永興」にて行われました。



当日は晴れてとても寒い日でした。参加者は来賓を含めて35名でした。田中久弥事務局長の司会で始まりました。主催者挨拶として千葉シニアクラブ長岡功会長が、「私たちがとりまく最大の問題は、円安による食料品等の物価高から生活を守ることであり、現状打破には組織拡大強化を試行錯誤含めて何度も行いたい」と述べました。

静岡 第32回総会を開催

静岡定年退職者OB会は1月18日、パレスホテル掛川(掛川市)において第32回総会を開催しました。総会では、はじめに2025年の活動報告および会計報告について報告が行われ、いずれも承認されました。昨年、交流を目的とした行事を中心に、3月から5月に行われた地方自治体選挙、7月に行われた参議院議員選挙への協力もいただきました。充実した一年となりました。続いて2026年の活動計画(案)および、



予算(案)について審議が行われ、親睦行事の継続など楽しく活動できるOB会を目指して取り組みを進めていくことが原案どおり承認されました。また、向こう2年間の役員体制についても審議され、新たな役員体制が承認されました。冒頭の挨拶で小塚則久会長は「昨年は、私たちの生活を脅かす自然災害、物価高に見舞われた一年でした。今年も新年早々、政治の場で大きな動きがあります。私たちOB会は、懐かしさを共有するだけでなく、今とこれからを支えあう場でもあります。今後も多くの皆さんに気軽に参加いただけるOB会を目指して行きたい」と述べました。総会後は、参加の皆さん

東京 旗開きを開催

幹事 平木和裕

1月21日、金属労働会館において、旗開きを開催しました。来賓として郡山りよう参議院議員、宮本礼一JAMシニア会長、長岡功JAM千葉シニア会長、土屋省司JAM東京千葉執行委員長、山根洋平・調布市議、会員を含め計40名が出席しました。

その後懇親会では、お互いの健康を確かめ合い、恒例のビンゴゲームを行い盛り上がりしました。会員と現役の役員が集まれる機会は、総会、旗開きと年2回なので各地協の議長も是非参加を望んでいます。



**【石川能登をみんなで応援しよう】“北陸百選横丁ギフト”**

北陸・能登半島の復興を願い「応援する気持ち」を込めたカタログギフト 各20アイテムです

- プレミアムコース 8,250円/税込
- スタンダードコース 6,050円/税込
- ベーシックコース 4,400円/税込
- 能登応援コース 4,400円/税込

詳細はJAMT&Sへお気軽にお問合せ下さい。

JAMT&SショッピングHP

～ その他記念品・防災グッズ・金券手配・お菓子・会議や旅行手配等お任せください～

お問合せ JAMトラベル&サポート株式会社

〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館 16F

TEL. 03-3457-9932 FAX. 03-3457-9935